



31

つがるいしがわていぼう 津軽石川堤防

岩手県宮古市津軽石

宮古市は、岩手県の東部海岸の中心で、本州最東端に位置し、豊富な海の幸によって古くからひらかれた町である。本市の海岸線は北部が海岸段丘、南部は沈降海岸と変化に富んでおり、陸中海岸国立公園の一部である、美しい自然景観を有する。〔文化・観光〕浄土ヶ浜、潮吹穴、宮古鮭祭り（1月上旬）、宮古夏祭り（7月下旬）



「津軽石川」は源流を山田町豊間根に発し、宮古湾に到る延長約一四キロメートルの河川である。古くから南部鼻曲がり鮭の産地として親しまれ、明治三八年以来、八十余年にわたり、採捕、採卵、ふ化放流が行われている。

この貴重な鮭資源の繁殖保護事業について、多くの人に認識を深めてもらうため、観光客誘致対策の一助として、昭和四八年より宮古市では「鮭のつかみ捕り」を主にした鮭祭りを実施している。鮭の母川そ上には、河川の浄化、環境整備が必要である。そのため国、県、市、地元漁協などが河川周辺の環境保全に努めている。

川の中に入って追いかけて、手づかみでとる「鮭のつかみ捕り」は、地域の人々にとっての自然との楽しいふれあいの場となっている。